

令和5年度 大館市立早口小学校 学校評価書(前期)・年度)

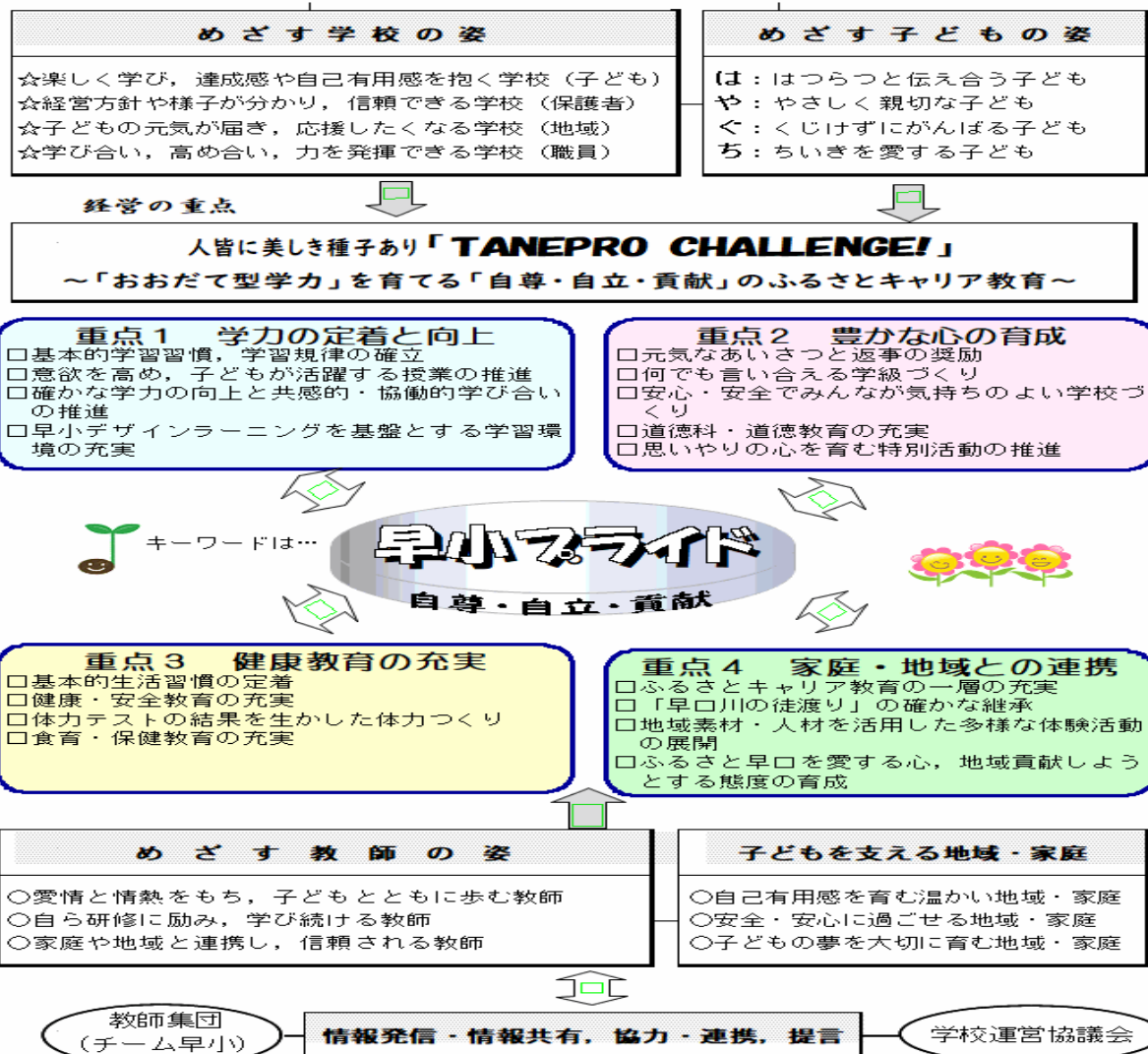
A 学校教育目標

未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成

B 本年度の重点

人皆に美しき種子あり「TANEPRO CHALLENGE！」
～「おおだて型学力」を育てる「自尊・自立・貢献」のふるさとキャリア教育～

C 学校経営の特徴



運動会での色別対抗綱引き



保小交流サツマイモの苗植え



31回目の「早口川の徒渡り」

学校評価A と学校関係 者評価の評 価区分	きわめて良好	学校評価Bの 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

ア 児童の状況

I 自主的・自立的な生活

児童生徒の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし、規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感を育もうとしている。	前期 おおむね 良好	良好	あいさつについて、児童ヒアリングの結果、児童自身の意識の高さや取組への熱意が感じられたため、あいさつは良好、項目全体としても良好と評価する。
策 学校 校 評価 評 価 の 概 要 と 学 校 の 改 善	【前期(→年度)】○「早小7ルール」を月目標に位置づけ、あいさつと言葉遣いについて取り組んだ。あいさつ期間を設け各色で「あいさつもらい隊」になり、たくさんの友だちからあいさつをもらった。よかった人を見つけてカードに書いて掲示したり、放送で紹介したりして、場面を変えながらあいさつの意識向上を図り、元気なあいさつの声が聞こえてきた。→取組を保護者に伝え、呼びかける。 ○小中連携自立プランについて、PTA(4月、7月)で紹介し、6月の実態、学期の振り返りを保護者と一緒に行き、家庭との連携を図ってきた。→家庭と連携して基本的な生活習慣の形成を図る。 ○交通安全や生活の約束では、危険な場合はその都度伝え、注意喚起した。→引き続き、交通、生活のルールを確認していく。 ○なかよし班では、掃除や体力テストを通して他学年との交流を深め、さつまいもの苗植えでは、異学年ペアとなり協力して取り組んだ。→引き続き、高学年を中心に他学年と仲良く活動に取り組めるように支援していく。 ○児童総会に向けて、各学級でSDGsに関わる取り組みについて話し合い、当日は全体で交流し各委員会で取り組める活動を話し合った。→決めた取り組みを委員会でも話し合い、実践していく。 【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化	学校内外での明るいあいさつ 小中連携あいさつ運動 正しい言葉遣いの指導	3
	(2) 自立に向けた基本的な生活習慣の形成	小中連携自立プランの活用と定着 家族の一員としての自主的な手伝い習慣の奨励	3
	(3) 生活の約束を守る姿勢・態度の定着	児童主体の早小7(セブン)ルールの実践 生徒指導だよりの発行	4
2 集団生活・集団活動	(4) 自主的・実践的な態度を育てる特別活動	学校行事・元気農園活動・児童会活動・集会活動等への自主的・積極的な参画と運営 異学年同士で認め合い協力し合う	4
	(5) 明るさとやる気に満ちた学級集団の形成	学級活動の充実 主体的な係・当番活動への取組 学級会の主体的な話し合い活動	4

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

[1基本的な生活習慣に関するデータ]

- (1) 正しい言葉遣いと明るいあいさつの習慣化
○進んで元気にあいさつしている。
□本校の子どもたちは自分から元気にあいさつができていますか。
■校内外での明るいあいさつ、正しい言葉遣いができているか。
- (2) 自立に向けた基本的な生活習慣の形成
○学校の準備などを自分でしている。
□自分で学習の準備をしたり家のお手伝いをしたりしているか。
■自立に向けた基本的な生活習慣ができているか。

- (3) 生活の約束を守る姿勢・態度の定着
○交通安全のルールや学校・家の約束を守って生活しているか。
□交通ルールや学校・家庭の約束を守っているか。
■生活の約束を守る姿や態度が定着しているか。

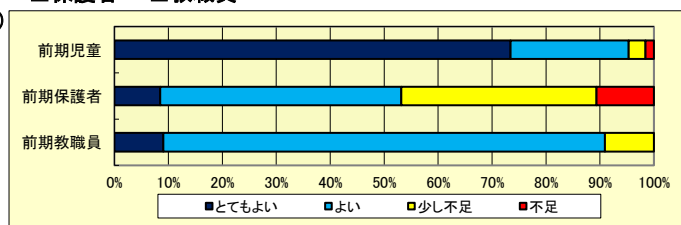


★「あいさつもらい隊」！月間の実施
明るく元気に、相手の目を見て、自分から進んで、の3つのポイントで、各色で率先してあいさつをする。よかった人を見つけ、カードで掲示、放送で紹介し意欲を高めた。

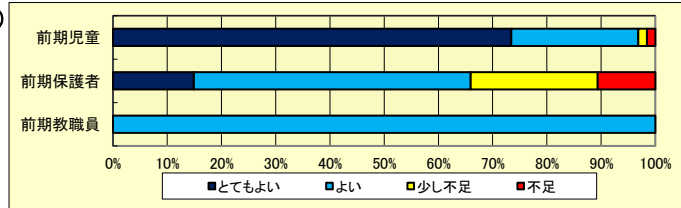


★「早小7ルール」の活用
指導の重点に合わせ、月目標に取り入れ、意識付けた。
5月 あいさつ・返事
6月 友だち・自分を応援する
7月 廊下の歩き方

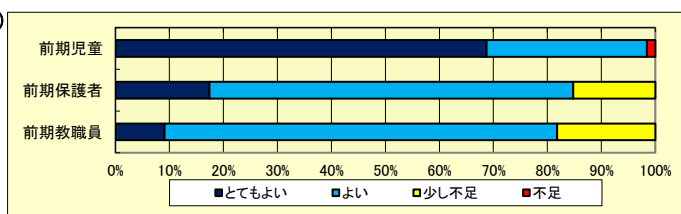
(1)



(2)



(3)



[2集団生活・集団活動に関するデータ]

- (4) 自主的・実践的な態度を育てる特別活動
○学級の行事や委員会活動、チーム活動、なかよし班でのそうじなどに進んで取り組んでいる。
□行事や児童会活動、はつらつプロジェクト、はつらつチーム活動等は主体性や実行力を育んでいるか。
■自主的・実践的な態度を育てる特別活動となっているか。
- (5) 明るさとやる気に満ちた学級集団の形成
○学級の係や当番活動、学級会の話し合いに進んで取り組んでいる。
□係や当番活動、学級会が工夫され主体的に取り組んでいるか。
■学級の係・当番活動、学級会の主体的な話し合い活動ができているか。

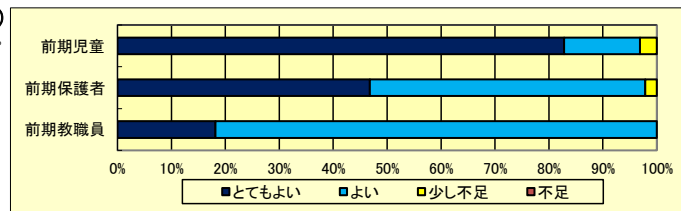


★さつまいもの苗植え
はつらつ元気農園活動の一環として、異学年でさつまいもの苗植えをした。

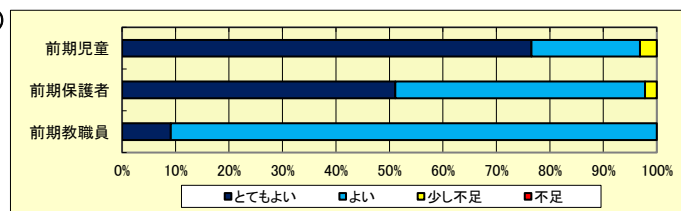


★児童総会
大館子どもサミットで提案されたSDGsに関わる取り組みについて、各学級で話し合ったことを全体で交流した。

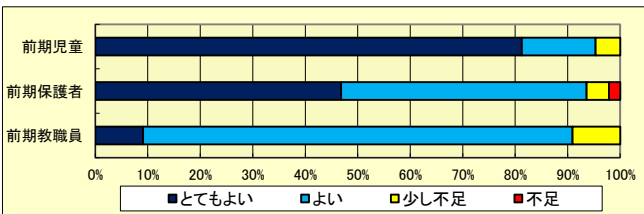
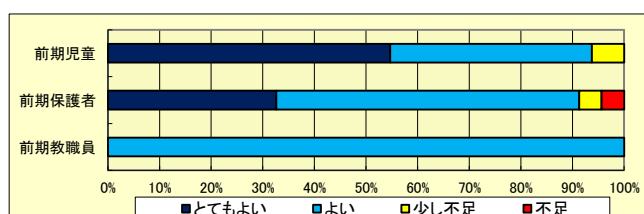
(4)



(5)



ア 児童の状況

Ⅱ 豊かな心				
児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
自分らしさを発揮しながら、夢の実現に向かって努力する、豊かな人間性を育んでいる。	前期	良好	良好	徒渡り、元気農園活動、はつらつ弁当などの取組がすばらしく、豊かな心が育まれているため、良好と評価する。
	年度			
策 校 評 価 の 概 要 と 学 校 の 改 善	【前期(一年度)】〇道徳の時間では、自分の思いや考えを明確にし、互いの思いや考えを比較している。また、学級掲示には道徳コーナーを設け、友達の考え方にも触れることができるようにしている。5年生がリーダーシップをとって行った元気農園活動では、異学年で活動することにより、上の学年は下の学年に優しく教え、下の学年は上の学年の頑張りをみることができた。徒渡りでは、6年生を中心に、全校で盛り上げ、役になりきって川を渡ることができた。活動を通して、友達のよさやがんばりを見つげたり、認めたりしながら相手を思いやる心が育ってきた。→その場に応じた正しい言葉遣いができるよう、引き続き指導し、より一層思いやりの心を育てていきたい。			
	〇週1回の「子どもを語る会」や月1回の「教育相談」を通して、児童の実態の把握・理解に努めた。→今後も学校全体で見守る姿勢で、様々な児童の情報を共有していく。			
	〇教師が児童のがんばりを認めるだけでなく、児童同士でお互いのよさを伝え合う時間を設けた。→お互いのよさを認め合うことで、学級が児童の居場所になり、安心できる環境ができているため、今後も継続していく。			
〇3年生以上で実際に羽州街道を歩き、6年生が全校児童と保護者に向けて発表した。各学年、徒渡りに向けてアビールの仕方や自分の役のセリフを確認したり、使用する道具を準備したりし、全校で力を合わせて取り組んだ。→今後も自己有用感をもてるように、目標に向かって取り組めるような場の設定をしていく。				
【年度(一次年度)】				
		実践課題		主な取組
3	思いやりの心の育成	(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動		ふるさとに広げる「美しき種子」活動(徒渡り・元気農園・はつらつ弁当) 道徳と日常活動との関わり
4	豊かな体験活動	(7) 自他のよさを認め合う学級づくり		学級目標の実現 認め合う学級活動 心の居場所づくり 生徒指導の機能を生かした授業 いじめアンケート・児童理解の会の活用 教育相談日の充実
		(8) 一人一人のよさの発揮と自己有用感の育成		学年のよさを生かすなかよし班活動 主体的な集会活動 交流活動の充実 「美しき種子」活動(元気農園・徒渡り等)を通じた地域貢献
★実践事項 ○児童 □保護者 ■教職員				
[3]に関するデータ]				
(6) 思いやりのある行動を育む環境と活動				
○ 道徳の時間には自分の行動や生活を振り返って考えたり、友達の気持ちを考えたりしている。				
□ はつらつ元気農園や縦割り活動、道徳教育などで、子どもたちに豊かな心を育んでいると思うか。				
■ 道徳教育、縦割り活動、「美しき種子」活動などで思いやりの心を育んでいるか。				
				
				
★ ふるさと元気農園活動				
3色の色別チームごとに、縦割りペアを組んで、農園活動に取り組んだ。サツマイモの苗植えでは、地域の方々やたしる保育園の園児と一緒に活動した。				
★ 道徳コーナー				
道徳の時間に考えたことを振り返ることができるように、各学級に道徳コーナーを設置している。				
[4]に関するデータ]				
(7) 自他のよさを認め合う学級づくり				
○ 友達のよいところを見つけたり、紹介したりしている。				
□ 学校では子ども一人一人を大切にしてお互いのよさを認め合う学級づくりを行っていると思うか。				
■ 学級目標を実現する心の居場所作り・学級活動・生徒指導の機能を生かした授業・児童理解ができているか。				
(8) 一人一人のよさの発揮・自己有用感の育成				
○ 元気農園活動や徒渡りなどのふるさとキャリア教育で自分の種を育てようとかんがえている。				
□ 色別チームやなかよし班や集会活動、はつらつ元気農園、徒渡りなどを通して、子どもたち一人一人がよさを発揮し自分を大切にすることを育んでいると思うか。				
■ なかよし班、色別チーム、「美しき種子活動」などの交流・貢献活動によって、子どもたち一人一人が自己のよさを発揮し、自己有用感を高めているか。				
				
				
★羽州街道の学習会				
昔の人の様子を想像しながら学べるように、劇を入れて発表した。				
★早口川の徒渡り				
開会式時点では強雨だったが、雨足が弱くなったところを見計らって川を渡ることができた。				

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
健康や体力に関心を持ち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	学校での取組がそれほど不足しているとは言えないが、家庭での運動不足を補う意味でも、今後の伸びしろに期待したいので、「おおむね良好」と評価する。
	年度		

【前期(一年度)】〇全学年の歯みがき指導、1年生保護者の試食会及び児童の食育授業をし、健康についての意識が高まった。→生活習慣とメディアに関する実態調査を実施したので、9月のメディアコントロール週間の際、結果を活用し、保護者に働きかけを行っていく。PTA授業参観では、姿勢についての研修会を実施予定。
〇わくわくマラソンを週2回中休みに実施した。周回数記録するカードに、運動会の結果と秋の記録を記入する欄を作ったり、周回数に応じて県内の各地を旅する仕様にしたりしたことにより、児童の体力向上や運動意識の高まりが見られた。
〇昨年度の新体力テストの結果を体育の指導に生かすことができなかった。結果を分析し、本校の児童が苦手な運動領域の改善に向けた実践を提示していく。

【年度(一次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B
			前期 年度
5 健康教育	(9) 望ましい食習慣と健康教育	生活実態調査による実態把握 メディアコントロールカード・食育指導の充実 保健だよりの発行など保護者への啓発	3
6 体力の向上	(10) 業間運動への積極的な取組	わくわくマラソン・縄跳び 外遊びの奨励 徒競走・持久走記録会の実施	3
	(11) 新体力テスト結果の活用	昨年度結果の活用 体育学習での補強・準備運動	2

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

[5 健康教育に関するデータ]

(9) 望ましい食習慣と健康教育

- 歯磨きやメディアコントロールなどへの取組をすすでがなっている。
- 保健だよりの発行やむし歯予防・食育などの指導、メディアコントロールカードなどの実施は健康習慣への関心を高めているか。
- 生活実態調査による実態把握、むし歯予防指導、保健だよりを通して児童の食習慣と健康習慣が改善されているか。

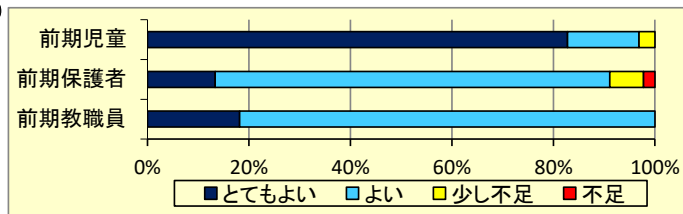
★歯みがき指導の様子

6月に全学年歯垢の染め出しをした。
歯を磨く順番と歯ブラシの正しい持ち方が分かるように、歯みがきの音楽を変更した。

★1年生保護者対象の給食試食会の様子

盛り付け・配膳の様子も参観してもらい、教室で試食をした。栄養教諭の協力を得て、授業も行った。

(9)

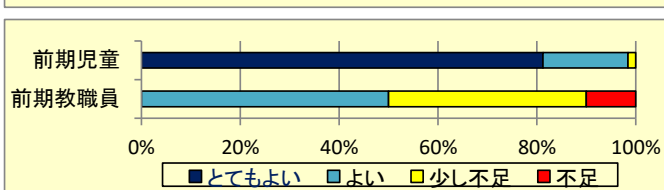
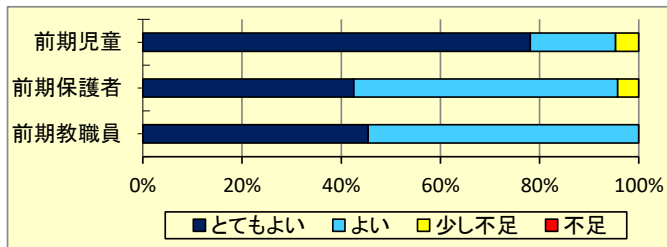


[6 体力の向上に関するデータ]

(10) 業間運動への取組

- わくわくマラソンなどの体力づくりに取り組んだり、外で遊んだりしている。
- わくわくタイムのマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てているか。
- わくわくマラソンやなわとび運動、外遊びの奨励、持久走記録会の実施により児童の体力が向上しているか。

(10)



(11) 体力テストの結果の向上と活用

- 体育の時間には、自分が苦手な運動にもがんばって挑戦している。
- 体力テスト結果の分析・活用、体育授業での取組が体力向上につながっている。

(11)

★わくわくマラソン

「わくわくマラソン」を中休みに週2回実施した。個人カードを活用し、自分の頑張りを記録できるようにした。児童は意欲的に活動に取り組んでいるため、体力向上の観点からも週2回の活動を継続していく。

★新体力テスト

縦割り班を活用し、全校で体力テストを行った。目標をもちながら、テストに取り組む児童の姿が見られた。高学年が低学年の記録を手伝ったり、やり方を教えたりしながら、協力して取り組むことができた。



ア 児童の状況				
IV 基礎学力				
児童生徒の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に学習に取り組 み、基本的学習習慣を 身に付けながら学力を 向上させようとしている。	前期	おおむね 良好	おおむね 良好	非常によく取り組まれているが、さらなる学力の向上を期待し、「おおむね良好」と評価する。
	年度			
善学校 策評価 の概 要と 学校 の改	【前期→(年度)】○「学びのルール定着」を月目標に設定し、職員が共通理解して指導を進めたことで、児童の意識を高めることができた。→職員や児童が声を掛け合っ て、次時の学習準備や朝読書の準備を時間通りに行うことができつつあるので、これを継続し、児童の実践力を高めたい。 ○自学ノートと宿題を併用して指導し、花まるDAYでも家庭学習の意欲を高めることができた。→家庭学習のよい例を他の児童や保護者に紹介して児童の意欲を高めた りやり方を教えたりする実践を継続したい。 ○前日のうちに朝読書の準備をし、時間を守って読書ができるようになってきた。もっと様々なジャンルの本に触れさせたい。→教科指導と関連付けた読書活動の充実も 図りたい。 ○共感的・協働的に学び合う「はつらつタイム」において、友達と考えを出し合って課題解決に向かおうとする意欲的な児童の姿が様々な場面で見られた。→児童の実態 に合わせた学び合いの形態の工夫や、「はつらつタイム」で学び合ったことを個々の力として定着させる手立ての工夫をしていきたい。 ○全国学力テストは、国語が全国平均を上回り、算数も県平均に近づいてきている。→詳しく分析を行い、さらに学力の向上を目指して、しっかりと回復指導をしていく。			
	【年度(一次年度)】			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B 前期 年度
7 学習への 取組	(12) 基本的学習習慣の定着		早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花まる DAYの継続	4
	(13) 基礎・基本の確かな定着		はつらつと学び合うHDLの推進 パワーアップタイム等の 継続実施 家庭学習の充実	3
	(14) 表現力を高める読書活動の充実		読書意欲を高める読書指導・読書運動 学年おすすめの 本の活用 親子読書の奨励	4
8 授業改善と 学力向上	(15) 授業力向上の職員研修		課題解決に向かう授業改善 共感的・協働的学び合い学 習の推進 学び合う教職員	4
	(16) 諸検査の状況		全国学テ・県学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3
★実践事項 ○児童 □保護者 ■職員				
〔7 学習への取組〕 (12)				
(12)基本的学習習慣の定着				
○ ハンドサインや話型、学習用具の整頓やノートの使い方などの約束を 守って学習している。				
□ 「早小っ子学びのルール」や家庭学習カードの活用、家庭学習名人コー ナー、花まるDAYなどの実施は家庭学習習慣を身に付ける上で有効だ と思うか。				
■ 早小っ子学びのルールの定着 学習カードの活用 花まるDAYの継 続が学習習慣の定着に結びついているか。				
(13)基礎基本の確かな定着 (13)				
○ 家庭学習や授業中の練習問題などにかんばって取り組んでいる。				
□ ペア・グループを活用した学び合いやパワーアップタイム、家庭学習強 調週間の実施は、子どもたちの基礎的な学習の定着につながっている と思うか。				
■ はつらつと学び合うHDLの推進 パワーアップタイム等の継続実施に より子どもの学力が定着しているか。				
(14)表現力を高める読書活動 (14)				
○ 読書タイムに静かに読書したり家で学校から借りた本や家にある本を 読んだりしている。				
□ 朝読書や読み聞かせ会、読書環境の整備、親子読書の奨励によって読 書への関心が高まっていると思うか。				
■ 読書、読み聞かせ、親子読書により表現力を高めているか。				
〔8 授業改善と学力向上〕 (15)				
(15)授業力向上研修・学び合いの充実 (15)				
○ 授業中に友達の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを発表したりして いる。				
■ 授業改善、学び合いの充実が図られているか。				
(16)諸検査の状況				
令和5年度全国学力・学習状況調査(全国比・秋田県比)				
	国語	算数		
本校	69	61		
秋田県	72	65		
全国	67.2	62.5		
学習活動の様子				
 ★ペアで考えを交流 グループや全体での話し合いの前にペアで。  ★児童の実態に合わせた学び合いの形態 意見を出しやすいグループでの話し合いを採用。				

イ 学校運営の状況

V 教育課程・教育環境

学校の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教育課程と教育環境の充実に向かって、チーム早口として組織的、主体的に取り組んでいる。	前期	良好	おおむね良好	早口小学校の問題ではないが、校舎、施設の劣化が著しく危険な箇所がある。早急に改善しなければならないため、「良好」ではなく「おおむね良好」とする。
	年度			
善学校評価の概要と学校の改善	【前期(一年度)】〇「早口川の徒渡り」の成功を目指して諸活動を積み重ねて意識を高めることで、児童の主体的な姿が見られた。特に6年生は「羽州街道の旅」から他校との交流、在校生や保護者への学びの発信と活動を広げ、当日はたくさんの協力の下、行うことができた。さつまいもの苗植えでも5年生を中心に保小連携を図りながら、全校児童で関わり合って活動することができた。→活動の仕方を模索しながら、さらにふるさとキャリア教育の充実に向けた実践を重ねたい。			
	〇毎月の安全点検を実施し、不具合がある場合は教育委員会に連絡しながら、校務主事に対応できる場合は早急に改善している。大掛な改善や予算を伴うものについては、毎年要望書を提出しているがなかなか改善されない。今年度は保護者から危険箇所やクマの情報も寄せられ、保護者が自主的に草刈りをしてくださったり、見守り隊が定期的に巡視を行ってくれたりするなど大変ありがたかった。→安全点検を継続するとともに、日常の校内巡視のときには、全職員が危機管理意識をもって環境整備に努めたい。また、保護者や地域と連携を取り合いながら安心して過ごせる教育環境を整えていきたい。			
【年度(→次年度)】				
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
9 特色ある学校づくり	(17) 特色ある教育課程の編成と実施	「自尊・自立・貢献」を核としたふるさとキャリア教育の充実、特色を生かし効果的に教育課程を実施するカリキュラムマネジメント	4	
10 教育環境の充実	(18) 施設設備・環境の整備	定期的な施設・設備の点検 学習環境の整備 予算の有効活用	4	

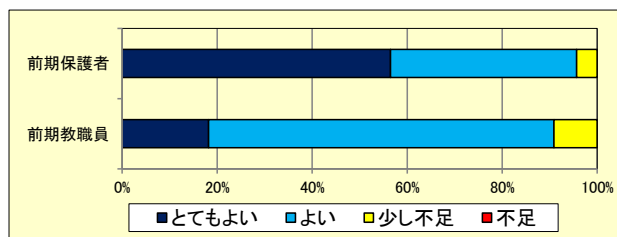
★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(17) 特色ある教育課程の編成と実施

□ 学校は、はつらつ元気農園活動の継続や徒渡りなどの「はつらつプロジェクト」を通して、特色あるふるさとキャリア教育を進めていると思うか。

■ 「自尊・自立・貢献」を核としたふるさとキャリア教育などの教育課程の編成と実施により、特色ある学校づくりを行っているか。

(17)



な進では ★
つめきつ今
るたら年「さ
活と。度つ
動と5チかま
しも年1らい
たに生ム畑も
。保はでのの
小先協縮苗
連頭力小植
携にしとえ
の立合な」
中つつつ
心ててた
と会活が
を動、



★【早口川の徒渡り～羽州街道の旅、ポスター配付】
羽州街道のつながりで、北秋田市立綴子小学校と交流し、ふるさとに係わる活動を発表し合った。また、地域の施設にポスターを配付して呼びかけ、当日はたくさんの応援をいただくことができた。

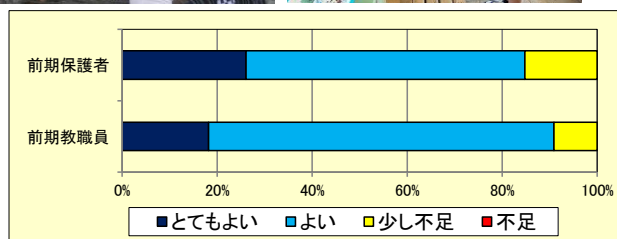


(18) 定期的な施設設備の点検 学習環境の整備

□ 学校の周りや校内の施設・設備、学習環境は安全に整備されているか。

■ 定期的な施設設備の点検と補修・環境整備、予算の有効活用が図られているか。

(18)



★ プールトイレ男女兼用解消と簡易水洗化



男女兼用また、汲み取り式トイレなので、使用しにくい状況である。間仕切りを設置や簡易水洗化を教育委員会に要望中である。

★ 今年度前期に実施した工事
・校舎回りコンクリートの整備

・2学期から5年生全部と4年生の一部の机と椅子が新しくなった。

★ 修繕に関する予定・要望事項
今年度後期に実施する事項
・なし

継続して要望していくもの
・2、3階ベランダ縁部分
・プール回りのフェンス等

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを分かりやすく保護者や地域に伝えており、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 おおむね 良好	良好	保護者や地域と非常によく連携されている。「良好」と評価する。
善学校評価の概要と学校の改	年度		【前期(一年度)】○学校報の定期的な地域配付やホームページ、ブログの更新等で、学校行事や子どもたちの様子を保護者や地域にお知らせしている。また、各学年のお便りで学級での子どもたちの学習面や生活面の様子を保護者に伝えている。その他連絡帳や電話を使って、保護者と連携を図っている。さらに保健だよりを活用し、子どもたちの健康面についても情報を提供し保護者と連携した取組ができるように努めている。→保護者のアンケートでは、不足は0ではあるが、やや不足が2割近くいる。これまで以上に情報交換を密に行い、家庭との連携を図ってきたい。 ○学校運営協議会が発足し、熟議を行うなど順調なスタートを切ることができた。PTA、地域ボランティアについては、コロナ禍以前に近い実施ができています。クラブ活動の田代太鼓、民謡、大正琴は昨年度と同様に外部の方を講師にお招きし、指導していただいている。→2学期以降の学校行事についても、学校運営協議会のご意見を大切にしながら、本校の強みを生かし、課題を克服していくためにも地域のお力をお借りできるよう連携を進めたい。 【年度(一次年度)】

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	後期
11 地域・家庭との連携	(19) 家庭・地域への情報発信・受信・相互理解	学校報の家庭・地区配布 ホームページ・ブログ更新 各種通信 情報発信による「チーム早口」啓発活動	3	
	(20) 学校評価の計画的実施と充実	PDCAサイクルの機能化 学校評価アンケートの活用 学校評価だより・評価書の家庭・地域への開示 (HP)	3	
12 地域の教育力の活用	(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用	PTA・保護者ボランティア・クラブ活動指導者との連携 地域学校協働本部・田代地域学校協働会議の活用	4	

★実践 ○児童 □保護者 ■教職員

(19)家庭・地域への情報受発信・相互理解

□ 学校報、学年だより、学校HPやブログなどは、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えていると思うか。

■ 学校報・各種通信の配付、HP・ブログ等での情報受発信による「チーム早口」啓発活動により、教育活動が分かりやすく伝えられているか。

□ 学校は、連絡帳や個人面談、その他の情報交換により、保護者との連携を行っていると思うか。

(20) 学校評価の計画的実施と充実

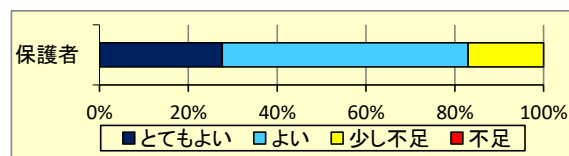
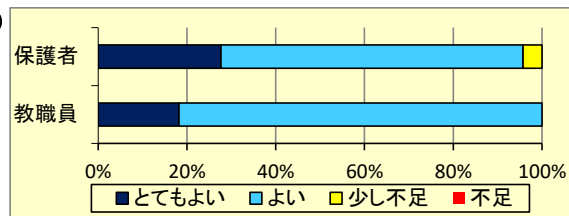
■ 学校評価アンケート活用 学校評価だより・評価書の配付が計画的に行われているか。

(21) 保護者との連携や地域素材・人材の活用

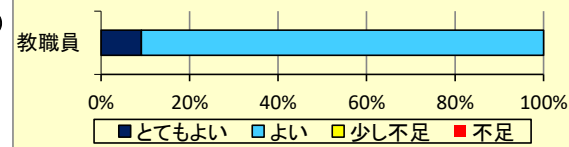
□ 学校は、PTA活動や様々な行事、各教科学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思うか。

■ PTA・地域ボランティア・クラブ活動指導者との連携や、学校運営協議会を生かした家庭・地域との連携、地域学校協働本部・田代学校協働会議を活用しているか。

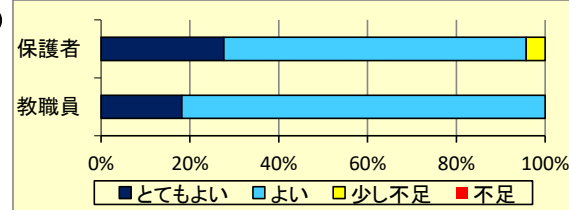
(19)



(20)



(21)



★サツマイモの苗植え作業

JAあきた北田支店の皆様、婦人部、青年部の皆様のお力をお借りしながら、今年度は300本のサツマイモの苗を植えることができた。



★ドリームライブラリー読み聞かせ

今年度も、定期的に地域の方が子どもたちに読み聞かせをしてくださっている。



★第1回学校運営協議会

自己紹介に続き、熟議を行って、本校の強みと課題を共通理解した。

